

1. 行政経営方針

本村においては、村の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的な村づくりの指針となる第7次総合計画を策定し、令和3年度から令和12年度の期間において、その実現に向けた各種施策を推進しているところである。

また、令和3年2月に第2次総合戦略を策定後、2060年においても3,600人の人口維持を目指し、「住んでみたい、住み続けたいむらづくり」、「結婚・出産・子育てしやすいむらづくり」、「働き続けられるむらづくり」、「魅力あふれるむらづくり」の4つの基本目標を定めて地方創生の取組を進めている。

令和4年度からは、複合型子育て拠点施設「ミライトひえづ」で、子どもたちの受け入れを開始し、切れ目のない子育て支援の充実を図っており、子育て環境に魅力を感じ転入する子育て世帯が増加している。

一方で、本村を取り巻く環境は、ロシアのウクライナ軍事侵攻や、イスラエルにおける紛争など不安定な国際情勢を背景に、原油価格や物価の高騰、円安の長期化など、住民の生活や社会経済活動への不安が高まる状況が続いている。

国においては、そうした状況にも対応するため、「経済財政運営と改革の基本方針2023」を策定し、経済対策をはじめとする各種対策事業を実施しており、30年ぶりとなる「高い水準の賃上げ」や少子化傾向の反転に向けた「こども・子育て政策の抜本強化」、社会のデジタルトランスフォーメーションを加速度的に推進する方針で検討が進められている。

そうした社会経済状況の変化に的確に対応し村民の生活を守ることを第一に考えながら、村民の参画と協働のもとに、第7次総合計画に描く将来像「みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村」を実現するため、令和6年度日吉津村行政経営方針を定める。

2. 共通推進事項

(1) 多様性を認め合う人権尊重の村づくり

鳥取県版ファミリーシップ制度の開始など多様性を認め合う社会づくりがより一層求められるなか、お互いを理解し、認め合い、尊重し合う村づくりができるよう、行政が率先して人権尊重の村づくりを進める。

(2) 「健康」な村づくりの推進

第7次総合計画の基本理念の一つである「健康」をテーマに掲げ、各政策分野において村民の「健康」、「健康づくり」につながる施策を実施する。

(3) 新型コロナ5類移行後の「日吉津村の地域力」を強化

新型コロナウイルス感染症の5類移行後2年目にあたる令和6年度は、再開した自治会活動、各種コミュニティ活動などの力強い前進と、向こう三軒両どなりの「日吉津村の地域力」の強化を図る。

(4) 地域で活躍する人材の育成「ボランティアのむらづくり」

各種事業実施において、村民のボランティア参加を受け入れ、次世代を担う人材の育成、新たなグループづくり、参画と協働のむらづくりの原動力とする。

(5) 村内企業をはじめとする民間事業者との連携

事業の実施にあたり、民間活力の導入による効果的で効率的な行政サービスの提供を図るとともに、村内企業との連携による事業の実施やサービスの提供を行う。

（６）安心安全で暮らしやすい環境整備

頻発化、激甚化する地震や集中豪雨等の自然災害を含めた全ての災害に対し、被害を最小限にとどめるため、防災・減災対策の推進を図るとともに、防災・防犯・交通安全など安心安全に配慮した社会基盤の整備を図る。

3. 重点推進事項

（１）「ミライトひえづ」を核とした子育て支援の充実

「ミライトひえづ」で、切れ目なく質の高い子育て支援を行っていくため、職員研修や関係機関の連携強化、地域住民の参画などにより、子どもたちや保護者に寄り添い特色のある子育て支援を行う。

（２）教育のさらなる充実

特色のある学校教育活動、少人数学級や児童支援、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育成する取組などにより、児童の基礎的基本的な学習内容の定着と、ふるさと教育の推進を図るとともに、ヴィレステひえづを中心に社会教育の充実を図る。

（３）重層的支援体制の整備

福祉ニーズの多様化・複雑化に伴い、新しい地域包括支援体制を構築するとともに、新しい支援体制を支える環境の整備（人材の育成、確保等）を行い、地域住民の参画と協働により、誰もが支え合う共生社会の実現を図る。

（４）日吉津村版「がんばる地域プラン」の推進による持続可能な農業の推進

「がんばる地域プラン」の推進により、農業や「食」に興味を持つ子ども、農業に関わる村民「農業関係人口」を生み出し、新たな特産品の開発や、老朽化した水路の補修など担い手にとって効率的な作業ができる環境整備を図ることなどにより、持続可能な農業と豊かな田園環境の維持を目指す。

（５）海浜エリアの活性化

海浜運動公園を専門的な事業者の支援を受けながら、村民の憩いの場として再計画し、官民連携をベースとしたキャンプ場や多目的広場等の維持管理も含めたサービス向上を目指す。さらに民間事業者主体による旧うなばら荘の活用により、村民に親しまれ、村内外の人がより多く訪れる海浜エリア一帯の活性化を図る。

（６）環境にやさしい暮らしの推進

二酸化炭素の排出抑制やゴミの減量化、ゴミのない村をめざした環境づくりなど、環境にやさしく誰もが気持ちよく暮らせる村づくりの取組を進める。

（７）デジタル技術の活用による課題解決

電子決裁や行政資料のアーカイブ化、A I の利活用など行政サービスや課題解決の手法としてデジタル技術の導入を検討し、住民サービスの向上、事務の効率化を図る。

4. 村民から信頼される行政運営

（１）村民との対話と共感を大切にしたサービスの提供

村民との対話を大切にし、村民の共感と納得感を得ながら業務遂行、接遇にあたりるとともに、常に村民ニーズの把握に努め、小規模自治体のメリットを活かした、きめ細やかなサービスを提供する。

（２）職員の能力と意欲の向上を図る人材育成と職場づくり

職員研修の実施や人事評価制度の運用により、変化の激しい社会環境に的確に対応できる柔軟な発想と迅速な行動ができる職員を育成するとともに、組織としての力を最大限に発揮し、健康で働きがいのある職場づくりを行う。

（３）行財政改革の推進

総合計画と連動した予算編成、事務事業評価の実施などにより、事業の優先度、重要度に応じた事業見直しを行うとともに、財政の将来推計に基づく歳出の削減や事務事業の効率化により健全な財政運営を行う。

5. 基本事業ごとの取組方針

村の将来像の実現に向け、村づくりの主たる分野ごとに、今後めざす方向性を「村づくりの政策」として、分野ごとの村づくりの計画を「基本事業」として、特に重点的に取り組む事務事業を「主要事業」として体系立てて取り組む。

政策 1 豊かな心をはぐくむ むらづくり

施策	基本事業	主要事業	担当課・関係課
誰もが学び誇れる むらづくり	人権尊重社会の実現（村民一人一人がお互いを理解し、認め合い、尊重し合う村をめざします。） お互いを理解し、認め合い、尊重し合う村づくりができるよう、引き続き多様な研修会等に参加し、知識向上を目指します。人権に関する相談体制の周知や相談の受付を行い、悩みの解消につなげます。 より多くの人が研修を通して差別問題に対する正しい理解を深められるよう情報発信にも努めながら、集会、講座等を企画します。 今後も様々な課題に対して正しい理解と、実践・行動ができるよう、ワークショップを用いた各種研修を開催します。	男女共同参画推進事業 人権・同和教育 人権・同和対策事業	(担当課) ・住民課 (関係課) ・教育委員会 ・総務課
	生涯学習の推進（ヴィレステひえづを拠点として楽しみながら活動する村をめざします。） 生涯学習講座（かがやき学級、成人学級、青年学級、ちびっこ公民館等）の月1回の開催を継続します。 中学生サークルによるイベントの開催や地域行事への参加などにより、中学生の地域での活躍を後押しします。 住民の暮らしに役立ち、心を豊かにする図書館になるよう「あたまイキイキ音読教室」「ひえづ出前図書館」や各講座やイベントを通じて、本と村民をつなげるよう取り組みます。 カルチャー土曜塾では、実行委員会で協議しながら、体験活動の充実や新たな活動の開発を進めます。	G U T S 日吉津 っ子育て事業 ヴィレステひえづ拠点事業 生涯学習の推進事業	(担当課) ・教育委員会
	文化・芸術の振興（日吉津村の歴史や文化についての理解を深め、村民の日吉津を愛する心情を育む村をめざします。） 日吉津村民俗資料館が収蔵する綿栽培道具一式が県の有形民俗文化財に指定(令和5年6月13日)されたことを受け、村民の皆さんに資料について知っていただくチャンスと捉え、特別展を企画し、展示・周知を実施します。 学校教育活動と連携し、むら探検（2年生）などで村指定文化財を見学する機会を活用して、小学生と地域の方が交流する場を創出します。	資料館管理運営 ふるさと読本制作事業	(担当課) ・教育委員会 (関係課) ・総合政策課

	小学生がふるさと日吉津について学ぶだけでなく、大人も日吉津の良さを再発見できるような読本の R7 年度の完成に向けて、より効果的な冊子となるよう制作委員会で協議します。		
子どもが 生き生き育 つ むらづくり	子育て支援の充実（すべての子どもたちが健やかで自立した成長を遂げ、保護者が安心して子育てができる村をめざします。） 入所、入館希望に応えるための人員確保（こども園、児童館）が必要です。 児童館利用の理解促進を図ります。 生活習慣の定着や学びへの意欲向上につながるよう、保育業務支援システム（ホイクト）を活用した情報発信に取り組みます。	利用者支援事業 ミライトひえづ 管理運営 すまいる子育て 応援ギフト こども園運営	(担当課) ・福祉保健課 (関係課) ・こども園 ・教育委員会
	学校教育の充実（子どもたちが、心はずませ、なかまとともに挑みつづけることができるようになります。） 豊かな体験活動をととした学びを基に、児童が生きる力を育むことができるよう、新たな地域のボランティアスタッフの開拓を行います。 タブレット端末を活用して、情報活用能力の開発に努めます。 日常的に英語に触れる環境をつくったり、対話的な活動を積極的に学習に取り入れたりして、伝えたい内容を自覚して説明できるコミュニケーション能力を育てます。 小学生を沖縄県読谷村へ、中学生をシドニーへ派遣し、それぞれの文化に触れて、ふるさと日吉津の良さを自覚し、郷土を誇りに思い、地域に貢献しようとする心情を育成します。	教育支援センタ ー運営事業 30 人学級体制整 備事業 コミュニティ・ スクール事業 GIGA スクール事 業 人材育成交流事 業	(担当課) ・教育委員会

政策 2 自然と調和する 住みよいむらづくり

施策	基本事業	主要事業	担当課・関係課
暮らしやす い むらづくり	快適な生活環境の整備（社会インフラが整備された暮らしやすい環境の下で、安心して生活できる村をめざします。） 通学路の安全対策については、引き続き必要に応じて行っていくきます。 下水道事業の決算状況を十分に踏まえた財政状況の現状分析・投資試算・財源試算をおこなう経営戦略を策定し、中長期的な施設修繕計画の検討を進めます。 令和 6 年度は、基本計画の作成や整備手法の検討等、海浜運動公園の魅力向上のための調査を進めます。また整備運営の方法については、PPP 事業による官民連携方式の導入検討等、最適なものを選定し、整備を進めていきます。	道路維持 下水道事業 海浜運動公園魅 力向上事業	(担当課) ・建設産業課 (関係課) ・総務課 ・総合政策課
	時代に即した快適で便利な環境整備（デジタル技術を活用して利便性の高い村をめざします。） 令和 7 年度を目標時期とし、「Gov-Cloud」の活用に向けた検討を踏まえ、基幹系 17 業務システムについて国の策定する	情報システム等 整備事業 情報通信ネット ワーク整備事業	(担当課) ・総合政策課 (関係課) ・住民課

	標準仕様に準拠したシステムへの移行に対応するための準備を進めていきます。 マイナンバーカード新規申請受付を継続します。 マイナンバーカードが継続して利用できるよう、転入時の内容更新や5年更新の対応を行います。		
	環境にやさしい暮らしの推進（環境負荷の軽減に取り組み環境にやさしい暮らしができる村をめざします。） ごみに関する広報や啓発活動を行います。 住宅用の太陽光発電システム及び蓄電池等の導入補助を継続します。 ながらごみ拾い、ごみ拾いボランティアを募り村内の環境美化活動を推進します。	し尿・ごみ減量化・不法投棄ごみ対策 住宅カーボンニュートラル推進支援事業 公害対策事業	(担当課) ・住民課 (関係課) ・総務課
安心安全なむらづくり	安心安全なむらづくりの推進①（災害時に誰一人取り残されることがないように体制づくりや備えを行い、有事の際に迅速かつ的確に対応ができている村をめざします。） 自主防災組織の活動及び連携等の支援をします。 防災士への研修開催及びに防災士間の情報交換等を実施し、地域での防災活動の充実につなげます。 女性防災士の育成をさらに推進し、女性目線での対策を取り入れた避難所環境の改善や、災害時の問題の解決策など平時からの防災意識の更なる向上を目指します。	災害対策事業	(担当課) ・総務課
	安心安全なむらづくりの推進②（交通事故をしない・交通事故に遭わない・犯罪に遭わない村をめざします。） 交通安全運動期間を中心に街頭啓発などを実施し、交通事故防止に努めます。 戸建て住宅の増加により必要となる防犯灯の設置を進めます。	交通安全活動推進事業 防犯対策事業	(担当課) ・住民課

政策3 健康とともに支え合う 活力あるむらづくり

施策	基本事業	主要事業	担当課
元気に暮らすむらづくり	健康づくりの推進（住民一人ひとりが健康に生活できる村をめざします。） 子育て支援センターやこども園等と連携を図り、保護者への指導助言、情報提供等を行い、家庭での生活習慣改善に結びつけます。 幅広い世代を対象とした健康づくりに関した教室やイベントを開催し、ポイントを付与する機会を増やします。 フレイル対策については、今年度事業の整理を行い、次年度に向けた検討を行います。	健康増進事業 健康寿命延伸事業	(担当課) ・福祉保健課 (担当課) ・福祉保健課

	ともに支え合う福祉の充実（村民が安心して健康に生活していくことのできる村をめざします。） 福祉のむらづくり計画に基づき、事業内容や事業展開について、包括ミーティング等で検討していきます。	介護予防・生活支援対策事業 包括的支援体制整備事業 健康増進事業	(担当課) ・福祉保健課
活力ある むらづくり	持続可能な農業と商工観光の振興（農業者が営農を続けていく上での問題点が解決され、安心して農業を続けていける村、中小企業や小規模事業者が将来に向けた展望を持ち、計画的に事業を展開していける村、日吉津村を訪問した人が日吉津村に魅力を感じ情報を発信し交流が活発な村をめざします。） 地域での話合いにより、地域農業の在り方や目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するための「地域計画」を策定し、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めていきます。 令和4年度から実施しているがんばる地域プラン事業については、事業の成果や農業者の意見等を踏まえ、適宜見直しを行いながら、地域での支え合いを基礎とした事業を年次的に推進していきます。 新型コロナ対策融資に係る利子補給に加え、エネルギー・原材料価格の高騰に係る融資を受けた事業者の利子負担の軽減を図ります。	地域計画 がんばる地域プラン事業 商工振興 地域魅力発信事業	(担当課) ・建設産業課 ・総合政策課
	移住定住の促進（住民と移住者が快適に安心して暮らせる村をめざします。） 国道431号沿道での新たな商業系地区計画の導入を目指します。 住宅建築可能な土地の更なる掘起しと、空家の解消を促進していきます。 日吉津村の移住定住に係る支援施策や各種情報について、ホームページを活用して広く周知します。 日吉津村が生活圏域ではない方が、日吉津村に魅力を感じ移住先として選択できるよう、県が主催するオンラインイベント等を活用しPRを進めます。	都市計画総務 移住定住支援事業	(担当課) ・総合政策課
ともに築く むらづくり	協働のむらづくりの推進（暮らしやすい村のために参画と協働の村をめざします。） 日吉津村チャレンジサポート地域事業補助金等を周知し、職員による各自治会への支援等と併せて、コミュニティ活動の活性化を図られるよう、各課が連携して地域課題の解決を図ります。 「参画と協働」のひとつとなる村民からの意見を、HP等で広く募集します。	自治基本条例推進事業 コミュニティ活動支援事業 ボランティア活動推進事業 広報誌作成事業	(担当課) ・総合政策課

	広報やイベント等を活用し、自治基本条例の周知を図り、「参画」と「協働」について考えながら実行できる村民を増やしていくよう努めます。 ボランティア活動では、各団体の CATV 取材等を通した活動紹介や、関係機関との連携を図りながら支援を継続します。 広報媒体のひとつである CATV の加入率向上のため、村民へのアンケートや身近な地域活動の取組紹介、中海テレビと連携した加入促進となる通年の取組を行います。		
--	---	--	--